１．研究テーマ及び公募番号

（研究テーマ名）

循環経済を確立する資源循環動態のシステム評価と実装手段の設計に関する研究

（公募番号）

R09-K-01

２．所属

国立環境研究所 資源循環領域

３．募集人数

テニュアトラック型任期付研究員　１名（ただし、応募者の業績・経験によっては、テニュアトラック型任期付主任研究員としての採用もありうる。）

４．研究及び業務内容

資源循環領域では、循環経済のさらなる推進に向け、循環資源と廃棄物のフローとストックに着目したシステム分析と評価を通じ、より高度かつ合理的な資源循環政策体系と制度設計に関する研究を実施している。さらに、人口減少、高齢化、単身世帯化を含む人口動態の変化、気候変動による災害リスクの増加などの社会の潮流のもと、将来危惧される廃棄物処理サービスの非持続性の課題を解消し、持続的かつ高度な廃棄物処理を提供するシステムと技術の最適化にも取り組んでいる。今後，脱炭素社会への早期移行に起因し，循環資源と廃棄物の動態変化に著しい影響を与え得るプラスチック，太陽光パネル，蓄電池等の品目に焦点を当てて上記課題の拡充と深化を図り，国内外の新たな資源循環施策を科学的知見に基づき考案する必要がある。

そのため，応募者は以下の 2 つの課題に従事する。

１）循環経済の確立に向けた国内外の資源循環と廃棄物処理のシステム評価と最適化，システムの社会実装を促進する制度設計の開発を行う。特に，脱炭素社会の早期実現に向けて脱炭素化と循環経済政策との整合的な制度設計が急がれる品目を選出し，産業エコロジー学，環境システム学や環境経済学等の手法論を用いてシステムの評価と最適化に取り組む。

２）第 6 期中長期計画における「システムチェンジ加速化研究プログラム」に参画し，脱炭素社会に加えて自然再興の早期実現に資する資源循環と廃棄物処理システムの開発を行う。

なお、中長期的には領域内のリスク系や技術開発系研究者との緊密な連携を通じて，資源循環と廃棄物処理に関わる新技術や化学物質の合理的な安全管理を考慮して，プラネタリーヘルス（地球環境と人類の健康の健全性）に導く資源循環と廃棄物処理システムの社会実装に貢献することを期待する。

（業務の内容 変更の範囲）

国立研究開発法人国立環境研究所が行う、研究及び研究に付随する事務業務全般

５．応募資格

以下のすべての要件を満たすこと。

(1) 採用時点で博士以上の学位を有すること（採用時に学位取得見込を含む)、または同等の業績や能力を有すると認められること。

(2) 研究内容に関連する産業エコロジー学，環境システム学，環境経済学等のいずれかにおいて高い専門性を有し、顕著な研究業績（国際誌に掲載された複数の筆頭論文）を有すること。

(3) 研究に必要な日本語によるコミュニケーション能力と研究成果発信能力（日本語能力試験（JLPT） N2 レベル相当以上）を有すること。

(4) 「４．研究及び業務内容」に示す研究について独立して主体的に推進する能力を有すること。

６．提出書類 ※（1）以外は様式自由

(1) 履歴書（写真貼付、所定の様式を使用） １部

(2) 研究業績目録（原著論文（国際誌の場合は最新のインパクトファクターを記載)、著書、解説、口頭発表、競争的研究資金、学会・社会活動、Google Scholar 等の論文被引用回数が分かる URL（任意)） １部

(3) 主要論文別刷り（コピーも可）(3 編以内)、又は論文以外の業績説明書（5 点以内） 各１部

(4) これまでの研究概要または業務概要（A4 判 1～2 枚程度） １部

(5) 研究に対する抱負（A4 判 1～2 枚程度） １部

(6) 所見を求めうる方の推薦状 ２通

（２名の方から各１通とし、国立環境研究所職員以外からの推薦状を１通以上とする。なお、宛名は 15. (1)に記載された領域長とし、推薦者の氏名と連絡先を明記すること。）

※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

※「５．応募資格」の要件を満たすことが明確に分かるよう記載してください。

７．応募締切

2026 年 11 月 27 日（金）必着 ※「９．応募方法」を参照すること。

８．選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。

面接は 2026 年 12 月 22 日または 23 日を予定。都合のつかない候補者には面接日について相談に応じる。

※面接審査においては Teams 等による WEB 面接とする場合がある。

９．応募方法

電子送付による。電子送付方法については、以下のとおり。

○「６．提出書類（１）～（５）」について

電子送付の方法については、2026 年 11 月 11 日（水）17 時までに必ず下記 15.(2)の担当者あてにメールでお問い合わせください。（メールで「６．提出書類（１）～（５）」を送付するのは不可。）

その際、メールの件名を「R09-K-01 資源循環領域研究員応募」と記載してください。メールをお送りいただいた方に電子送付の方法についてご案内します。

○「６．提出書類（６）」について

推薦者から下記 15.(2)の担当者あてに直接メールで送付ください。

１０．雇用予定時期

2027 年４月 １ 日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

１１．雇用期間

2027 年４月１日着任の場合は、任期は最長で 2032 年３月末まで。

１２．勤務地

つくば本部（茨城県つくば市）

（受動喫煙対策）屋内禁煙、特定屋外喫煙場所あり

１３．処遇等

応募者の実績に応じ、テニュアトラック型任期付研究員または任期付主任研究員としてとして採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員または主任研究員）に採用する予定。

（試用期間）６箇月（試用期間中の労働条件同一）

（勤務時間）裁量労働制

裁量労働制は勤務日に対象業務に従事した場合、1 日について 8 時間 15 分勤務したものとみなす。

（社会保険）国家公務員共済組合法、雇用保険法及び介護保険法の定めるところによる。

（テレワーク）原則として就業場所に出勤して業務を行いますが、上長が認める場合は、一定の範囲内でテレワーク勤務が可能です。

（その他就業関係）「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他

関連規定により確認すること。
（参考）国立環境研究所基本規程
https://www.nies.go.jp/about/disclosure/kitei/index.html

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に 6 箇月以上 1 年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

１４．その他
本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第 15 条の 2 の対象業務に該当します。
※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第 18 条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。
https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf

採用選考、応募、面接等の過程で、セクシュアルハラスメント（性的な言動）にお困りの方は、下記 URL の一次受付窓口をご利用ください。
https://www.jinjilabo.co.jp/nies-job-applicant/

１５．問い合わせ先及び書類提出先
(1) 選考および研究内容に関する問い合わせ先
国立研究開発法人国立環境研究所
資源循環領域　領域長　南齋 規介
Tel 029-850-2889
E-mail：nansai.keisuke（半角で@nies.go.jp をつけてください。）

(2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先
〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2
国立研究開発法人国立環境研究所
総務部人事課　吉村　篤彦
Tel 029-850-2316
E-mail： saiyo(半角で@nies.go.jp をつけてください。)